回　覧

社会福祉法人 伯耆の国 HOUKINOKUNI

第82号
2022. 5

伯耆の国　基本理念
「個々の生活観を尊重し、
豊かな心と安心・信頼の
地域づくりを目指して」

けやき

新年度がスタートして、新しい環境にも慣れてきました。
さくら保育園では、天気の良い日は砂場や園庭で水遊びなどを楽しんでいます。
また、散歩に出掛け、地域の自然や遊び場を堪能しています。これからも色々な経験をして、
お友達と一緒に考えて、協力して、元気に過ごしていきます。

社会福祉法人伯耆の国

コロナウイルス感染症対策の取り組み

介護現場においては仕事の性質上、職員と利用者はソーシャルディスタンスを保つことができません。食事介助や移乗介助など、利用者に触れずに介助することができないため、いわば毎日“濃厚接触”をしていることになります。それゆえに手指の消毒やマスク着用など細心の注意を払って感染しないように徹底しています。

⬆職員玄関に入る前にまず消毒をして、 職員玄関入ったら検温します。（1 日 3 回）

いわゆる「3 密」（密閉・密集・密接）を避けて、対面しないように距離を置いたり、テーブルに飛沫防止パネルを設置するなどの工夫をしています。

介助時は 1 ケア 1 手洗いを徹底し、こまめな消毒を行っています。

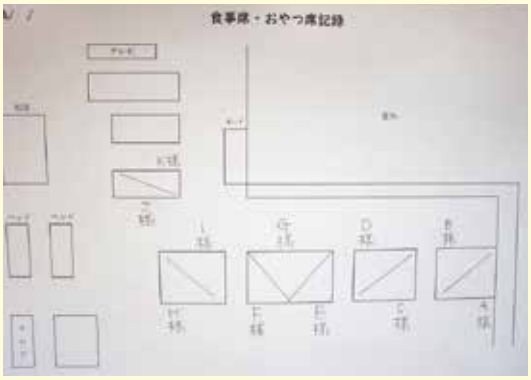
職員が使用するパソコンやタブレット端末も、毎回ふきとりをしています。皆が安心して使用できるようにしています。

都度消毒を実施しています。

また、デイサービスでも、レクリエーションなどは密にならないよう、十分に配慮し、前後そして合間に都度手指消毒、使用した道具はこまめに消毒を行います。

隣と前方に、飛沫防止パネルを置いています。

↑レクリエーションに参加する人は、全員手指消毒。



また、席次表を作成し、コロナウイルス感染症の疑いがあった時には、濃厚接触者を把握するため記録をしています。

利用者様も食事、水分補給以外は常にマスク着用していただいています。また、名札を作成して寝具等は兼用にならないよう準備して対応しています。

家族との窓越し面会
（特別養護老人ホームゆうらく）

コロナウィルスとの戦いはいつまで続くのかわかりません。この環境の中でも高齢者介護の必要性は大きく、新たに入所したいと希望される方もおられます。これからも、できることを最大限行って、地域の皆様のお役に立てるよう、安全・安心の介護を提供していきたいと思っています。

コロナ感染対策チーム

令和２年２月より伯耆の国の感染対策チームとして活動を始めました。メンバーはゆうらく副施設長、介護科長、ゆうらく看護主任、グループホーム看護師、在宅の看護師で構成されています。

主に、感染マニュアルの整備・見直し、伯耆の国行動制限表の見直し、コロナウイルス感染だけでなく、様々な感染症が発生した時の対応の指示、研修の企画等を行っています。

定期的に会議を開催し、感染状況に合わせた対応の検討や職員に対しての啓発活動、その時々の改善点や課題などを話し合っています。

その他の感染対策として

特別養護老人ホームゆうらく栄養科では、万が一の災害や感染拡大に備えて備蓄食を準備しています。

常食～形態食を約 5 日分準備しています。日常の食事で使用しながら災害時にも使用する食品と、主に非常時に使用する食品を組み合わせています。

特別養護老人ホーム 実践報告会

年度末に行っていた「実践報告会」もコロナウイルス感染症拡大予防の為、みんなの前で発表するという形ではなく、展示会場に模造紙を貼りだし発表するという形をとりました。

１年間の各ユニット、委員会での取り組みやその成果をまとめて発表しました。

つくし保育園

つくし保育園の年中、年長さんで近隣宅の動物を見に行きました。

「この草たべたよ」「ヤギって本当にメ～って鳴くんだね」など、子ども達が、驚いたり新しい発見をしたりしながら動物と触れ合える大好きな場所です。

編集後記

色々な事が重なって昨年大きな断捨離をした。家の中にあった物の半分近くは捨てたと思う。流行りのミニマリストと違い私はマキシマリストだったし、大切なものは大切にしすぎてなかなか使えずにいた。しかし状況が変わり心境も価値観も変わった。物を手放す基準は〝もしも今自分に万が一の事があっても「残してしまってごめんね」と言えるものだけを残す。〟この判断基準は私にとってとても明確なものになってくれた為、取捨選別に時間を要すこともなく、また捨てにくい〝思い出の物〟を手放すことも躊躇無く整理する事ができた。自分にもしもの事があった時まで持っていたいものはそんなに多くはないのだ。一連の作業を終えた今も時折見直しをしているが、生きている限りやはり物は増える。自分の煩悩は１０８つ以上あるのではないかと常々思っているし、毎年除夜の鐘で処理しきれないそれはどうしてくれようかと悩んでしまうが、無理はせず増えすぎないようにする事、１in１out を心がける事、そして丁寧に使っていきたいものを選んでいくことをこれからの自分のライフワークにしていきたいと身軽になった部屋で一人思っている。

発行　社会福祉法人　伯耆の国　〒683-0337 鳥取県西伯郡南部町落合 646 番地
TEL/0859-66-2253　ホームページアドレス http://yuraku-houki.net/